

「令和4年度 学校生活・学校教育活動についてのアンケート」集計結果から

川崎市立柿生中学校

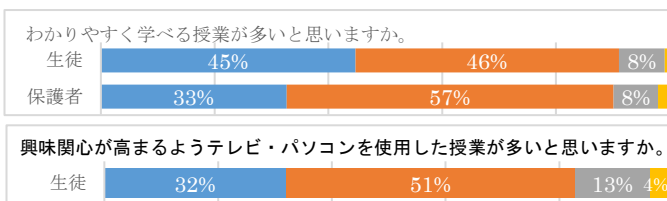
<学校教育目標>

- 思考力を養う
- 美しさを感じ、思いやりのある心を養う
- 自主・自立の態度を養う
- 健康の保持と体力の増進を図る

新型コロナウイルスの感染拡大により学校を取り巻く環境は急速に変化しており、コンピューターを利用して授業を行うことや、家庭と学校をオンラインでつなぐことが多くなってきました。感染拡大防止のため部活動や行事に制約を受けることはありましたが、昨年度のように授業数が減ることはありませんでした。また、修学旅行や体育祭・文化祭・合唱祭は感染防止対策を取りながら実施することができました。生徒達は日々の限られた学習活動の中、課題を克服しながら、思いやりと活気あふれる学校生活を送り、成長している姿が見られました。これらの柿生中学校の取組を振り返るために、11月に「学校生活・教育活動アンケート」を実施いたしました。保護者の皆様におかれましては、ご多用の中アンケートにご協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。アンケートの集計結果につきましてご報告いたします。

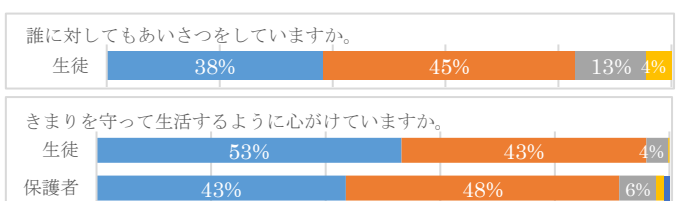
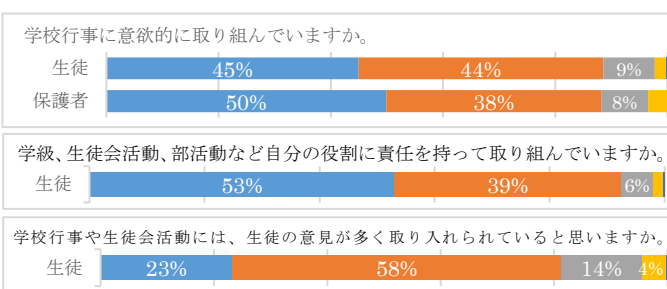
■ 当てはまる ■ どちらかと言えば当てはまる ■ どちらかと言えば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

1. 確かな学力を身につける教育の推進



1人1台のGIGA端末の活用も本格的になり、GIGA端末をはじめとしたテレビ・パソコンなどを授業で活用しているという回答が一昨年度と比べ10%以上増加しました。GIGA端末で生徒が自ら調べたり、広い範囲の意見交流をしたりすることで、生徒が主体的に学ぶ機会が増え、授業については生徒、保護者ともに9割以上の肯定的な回答をいただきました。今後も自分の考えを深めたり広げたりする学習はもちろん、基本的な知識や技能の習得にも役立っていくと考えております。来年度以降も引き続き、生徒が主体的に取り組めるような学習課題や授業方法の工夫を図り、基礎基本の定着を図ります。学習評価については、評価資料の一層の工夫等により妥当性と信頼性ある学習評価を行い、授業内での説明や面談などの機会を通して丁寧に説明をしていきたいと考えています。GIGA端末の活用が当たり前になってきた今、情報活用能力を育むことはもちろん、情報セキュリティ教育の充実を図り、正しく有意義にGIGA端末を活用する力の育成を図っていきたいと考えています。

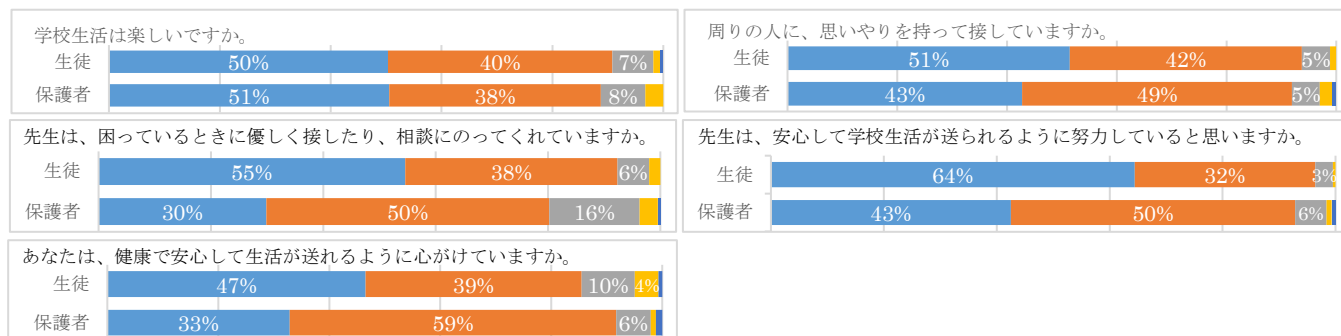
2. 自ら考え、判断し、表現する力を育成する教育の推進



9割近くの生徒が積極的に学校行事に参加し、自分の役割に責任をもって活動しています。昨年度は「生徒の意見が反映された行事・生徒会活動」について当てはまると回答した生徒が8割をやや下回っていたため、今年度は、生徒が自主的、実践的に取り組むことを目指して、様々な行事の計画を立て、進めてまいりました。今年度は、同項目について当てはまると回答した生徒が8割を超えており、生徒一人ひとりが主体的に関わる行事や活動が増えたと考えます。また、集団生活において大切な、きまりを守ることを心がけている生徒も、

昨年度に続き 9 割を超えています。一方で「積極的なあいさつ」について当てはまると回答した生徒がやや少なくなっています。生徒、教職員ともに、誰に対しても積極的にあいさつができる、活気にあふれた学校づくりに尽力します。次年度も引き続き、自ら考え、判断し、表現する力を育成する教育の推進に努めてまいります。

3. 豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進

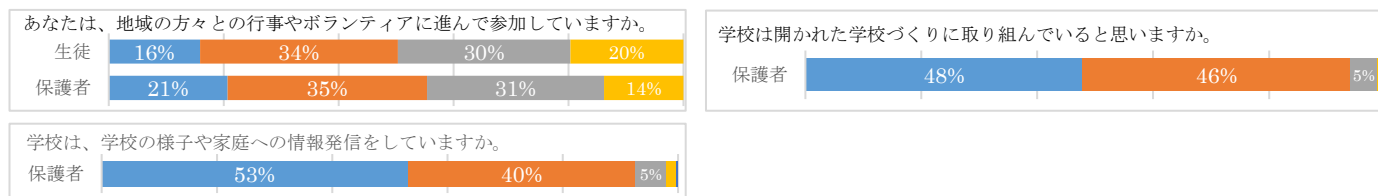


教員が、生徒が安心した学校生活を送れるように取り組んでいることや困っているときに支援していることは、9割以上の生徒から認知されています。

一方で、学校生活が楽しいかという質問に対して生徒の8%が「当てはまらない」「どちらか」として当てはまらない」と回答しています。今年度は、「川崎市 SOS の出し方・受け止め方教育」の授業や「多様な性・多様性」についての講演会を実施し、お互いに多様性を認めることや困ったときに援助を求めることの重要性を指導しました。今後とも生徒の困り感を早期にキャッチしたり、相談しやすい雰囲気を作ったりして、生徒が「学校には自分の居場所がある」と感じられるようにより一層努力してまいります。

また、健康で安全な生活への心がけについては、「当てはまらない」「どちらか」として当てはまらない」と回答した生徒が14%いることから健康教育の更なる充実が必要と考えられます。

4. 開かれた学校づくりの推進



「地域の行事やボランティアに参加」については、コロナ禍により参加が減少していましたが、今年度は感染症対策が進む中で昨年度より参加している生徒が増加しています。学校でも、地域教育会議の事務局としての機能（地域教育コーディネーターの選出、事務局としても活動）や生徒会主体による地域清掃「ゴミ・スターズ」の再会に多くの生徒が参加するなど地域活動への参加をサポートすることができました。

「開かれた学校づくり」や「家庭への情報配信」については、ミマモルメの利用を昨年度より活用しました。来年度は、授業参観の出欠席などもミマモルメや LOGO フォームを活用してより一層の連絡体制を活性化していく予定です。

生徒と保護者の皆様を対象としたアンケートを実施させていただきました。保護者の皆様から9割以上の回答が寄せられ感謝申し上げます。ご多用中の中ご対応いただきましたことに、今後、いただいたご意見を参考にして、次年度に向けてより良い学校づくりのための改善を図りたいと思います。ご協力ありがとうございました。